



角田市ゼロカーボンシティ宣言

角田市は、丘陵性の山地に囲まれ、市の中央部を阿武隈川が南から北に貫流し、流域一帯が平坦地を形成し肥沃な耕地がひらけている盆地状の緑豊かな田園都市です。この自然豊かな自然環境を保全し、末永く後世に引き継いでいかなければなりません。

近年、地球温暖化に起因すると考えられている気候変動の影響により、大規模な自然災害が世界各地で頻発しています。猛暑や集中豪雨の頻度の増加、海水面の上昇などは、私たちの生活に深刻な影響が出るであろうと懸念されており、人類共通の課題となっております。

2015年に採択されたパリ協定においては、産業革命からの平均気温上昇を 1.5°C に抑えるために「2050年までに二酸化炭素の実質排出量をゼロにすることが必要」との目標が掲げられております。

国はパリ協定に基づき、2013年度と比較し、2030年度までに温室効果ガスの46%削減を目指すと表明しております。

このような状況を踏まえ、角田市はかけがえのない豊かな自然を守り、安心して、いきいきと、誇らしく暮らせるまちを次世代につないでいくため、市民とともに国際社会共通の目標である「SDGs」に尽力し、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を目指すことをここに宣言いたします。



令和4年6月6日

角田市長

黒須 貫